

TOPICS

さとやまバスツアーがスタート

広島市から庄原市へ年間100便のバスツアーを実施する「しょうばらさとやまバスツアー100プロジェクト」がスタートしました。「田舎へ行こう！」をテーマに庄原市の魅力を発信し、地域の活性化を図ろうと、庄原市や観光協会、備北交通(株)などが連携してチームを編成しバスツアーの企画運営に取り組んでいます。農村の暮らしや文化に光を当て、新たな観光資源として農村を楽しむ仕組みをつくることにより、観光消費額などを増やしていきたいと考えています。

第1弾は、「田舎へ行こう！節分草に出会う旅」として、日本一の自生地といわれる総領町の節分草ツアーを行いました。参加者から「とても可憐な節分草と地元の方が心をこめて作られた節分草弁当に心も体もいやされた。また、ボランティアガイドの丁寧な説明がよかった」と好評でした。7日間で、総勢184人の参加がありました。

今後、一年間を通じて、地域の隠れた観光資源を掘り起こし、魅力あるバスツアーを企画していきます。



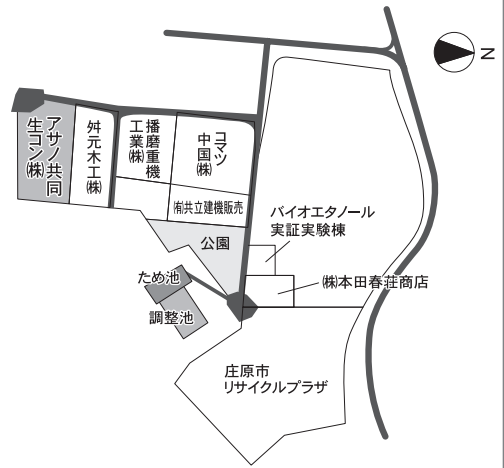
庄原工業団地に新企業

庄原工業団地に、アサノ共同生コン(株)が進出します。

アサノ共同生コン(株) (高田忠義社長)は、県内外の企業など6社が出資し、新しく設立した会社で、工業団地の5,443㎡を取得しました。

事業内容は生コンクリートの製造販売で、8月の操業に向けて準備を進めています。

市営庄原工業団地は平成5年度に完成し、今回で7社目の企業立地となります。



エゴマ研修会で生産拡大

庄原市エゴマ生産普及協議会は3月5日、市総合体育館会議室で「エゴマの栽培研修会」を開催しました。

新規生産者の育成や会員の栽培技術の向上など、生産の拡大が狙い。生産者など76人が参加しました。

研修会では、県立広島大学の武藤徳男教授が「エゴマの機能性について」と題して、生活習慣病予防食としての有用性を講演。協議会の道下貞登会長らが、実践を通して得たエゴマ栽培のコツを伝授しました。

エゴマは、生活習慣病などに効果があるとされているアルファ・リノレン酸を60%も含むことから、健康食品として注目されています。

庄原市では、昨年全国エゴマサミットを開催するなど、生産の普及に取り組んでいます。

現在の協議会会員は45人。会員は栽培・販売の指導、搾油料金の割引などの特典があり、随時新規会員を募集しています。また、(株)庄原市農林振興公社でエゴマの商品(エゴマ油・エゴマの実・エゴマ茶など)を扱っており、新たな商品開発を進めています。

問い合わせ (株)庄原市農林振興公社 (庄原市川手町23)

☎・FAX0824-72-5090



武藤教授が講演

五島敏正さんが絵画2点を寄贈

日展をはじめ数々の絵画展で入賞の実績を持つ洋画家五島敏正さん(広島市在住・西城町出身)が、油絵2点を庄原市へ寄贈されました。

寄贈された作品は獅子舞の様子を描いた「祭り」100号と、南フランスのスケッチ旅行で描いた「ボーケール城」30号の大作です。この作品は新庁舎に飾り、多くの方に見ていただけます。



市長へ絵の説明をする五島さん